

## もくじ

### 序章

- ・ 2 回目の自己点検・評価にあたって
- ・ 沿革

### 第 1 章 大学・学部等の理念・目的・教育目標

#### 第 1 節 教育の理念・目的・教育目標等-----1

- (1) 教育理念 共愛の精神-----1
- (2) モットー 行動の指針-----2
- (3) 教育の基本-----2
  - キリスト教主義に基づく全人教育-----2
  - 国際性豊かな人材育成-----3
  - 学究的精神ならびに態度-----3
  - 知恵ある人を育てる-----3
  - 実社会との主体的な交流・体験の機会を提供する-----4
- (4) 学部・学科の目的・教育目標-----4

#### 第 2 節 教育理念・目的・教育目標等の周知-----5

#### 第 3 節 教育理念・目的・教育目標等の検証-----7

- (1) 教育理念・目的・教育目標等を検証する仕組み-----7
- (2) 仕組みの妥当性-----8
  - ・ 点検・評価-----9
  - ・ 改善方策-----9

### 第 2 章 教育研究組織

#### 第 1 節 教育研究組織-----11

- (1) 国際社会専攻-----11
- (2) 地域児童教育専攻-----12
- (3) 教育支援組織-----13

#### 第 2 節 教育研究組織の検証-----13

- ・ 点検・評価-----15
- ・ 改善方策-----15

### 第 3 章 学士課程の教育内容・教育方法

- ・ 到達目標-----17

#### 第 1 節 学部の教育課程-----18

- (1) 専攻・コース制-----18
- (2) 科目群-----18
- (3) 科目群に割り当てられる単位数-----20

(4) 必修・選択の量的配分	21
(5) 開設授業における専・兼比率	21
第2節 導入教育・基礎教育	22
(1) 基礎科目・基礎演習	22
1) 基礎演習Ⅰ・Ⅱ	22
2) 情報演習・基礎	24
3) 外国語	24
4) 国語表現・コミュニケーション技法	24
(2) 倫理性を培う教育	25
1) 倫理教育・キリスト教関連科目	25
2) チャペルアワー・クリスマス礼拝・宗教センター ・キリスト教学校教育研究所	25
3) 人権と共生学習プログラム	26
第3節 専門科目・一般教養科目	27
(1) 専門科目	27
(2) 各コースの教育目標と専門科目	29
1) 英語コース	29
2) 国際コース	31
3) 情報・経営コース	32
4) 心理・人間文化コース	33
5) 地域児童教育専攻	34
(3) 教職課程	35
(4) 児童英語教師養成プログラム・日本語教師養成プログラム	36
(5) 一般教養科目	39
第4節 外国語教育	39
(1) 英語教育	40
1) 設置科目	40
2) TOEIC/IP を利用した目標設定と習熟度別少人数教育	41
3) 海外語学研修・留学プログラムによる単位認定	41
4) コンピュータを利用したセルフスタディの導入	43
5) 外国語センター	43
(2) 中国語インテンシブプログラム	44
1) カリキュラム	45
2) 留学制度	45
(3) 第二外国語	46
(4) 基礎教育・教養教育の実施・運営	46

第5節 特徴ある教育-----	47
(1) インターンシップ-----	47
(2) ボランティア実習-----	48
(3) 海外フィールドワーク-----	49
(4) その他の実践型教育-----	50
第6節 単位-----	51
(1) 単位の計算方法-----	51
1) 講義形式の授業-----	52
2) 実習・演習科目-----	52
3) 妥当性の検証-----	52
(2) 単位互換・単位認定等-----	52
1) 国内の大学での学修の単位認定-----	52
2) 国内の大学以外での学修の単位認定-----	53
3) 国外の大学での学修の単位認定-----	54
第7節 社会人学生、外国人留学生、帰国生徒への配慮-----	54
(1) 外国人留学生への配慮-----	54
(2) 社会人学生・帰国生のサポート-----	55
第8節 教育効果の測定-----	56
(1) 科目ごとの効果測定-----	56
(2) 卒業後の進路-----	56
1) 英語コース-----	57
2) 国際コース-----	58
3) 情報・経営コース-----	58
4) 心理・人間文化コース-----	58
5) 地域児童教育専攻-----	58
第9節 履修指導-----	59
(1) 履修指導-----	59
1) オリエンテーション週間-----	59
2) 履修ガイドとシラバス-----	59
3) シラバス授業-----	60
4) MIDS-----	61
5) オフィスアワーとアドバイザー制度-----	61
(2) 履修指導の適切性-----	61
1) 履修単位の上限-----	61
2) 履修制限-----	61
3) クラス指定-----	62

4) 学業奨励賞-----	62
(3) 単位不足者・留年者に対する指導-----	62
1) 留年・卒業延期者-----	62
2) 単位不足者への警告と面談-----	62
3) 留年者への指導-----	63
(4) 科目等履修生、聴講生等に対する指導-----	63
第 10 節 成績評価法-----	64
(1) 成績評価-----	64
(2) 資格による成績評価-----	64
(3) GPA-----	64
第 11 節 教育改善への組織的な取り組み-----	65
(1) ファカルティ・ディベロップメント-----	65
1) 授業開発研究会-----	65
2) 授業開発研究会の活動-----	65
(2) 授業アンケート-----	66
(3) 卒業生による評価-----	68
(4) 授業形態の改善-----	71
第 12 節 国際化への対応-----	73
・点検・評価-----	73
(1) 教育目標に適合した教育課程-----	73
(2) 学部学科としての一体感の醸成-----	74
(3) 特徴ある教育について-----	75
(4) 教育方法-----	75
・改善方策-----	75
(1) 新カリキュラムの導入-----	75
(2) 地域児童教育専攻に 4 つの専修を設置-----	77
(3) 特徴ある教育について-----	77
(4) 教育方法-----	77
第 4 章 学生の受け入れ	
・到達目標-----	79
第 1 節 入学者受け入れの方針-----	79
第 2 節 学生募集方法-----	80
(1) 高校生を主な対象とする広報活動-----	80
1) 受験雑誌やウェブサイト等の広告媒体を使った広報活動-----	80
2) 大学案内パンフレット、入試要項の配布-----	80
3) フォローツール-----	81

4)	進学相談会への参加	81
5)	オープンキャンパス、入試説明会の開催	81
6)	デリバリークラス	82
(2)	高等学校の指導教員を対象とする広報活動	82
1)	高校訪問	82
2)	教員対象説明会	82
第3節	入学者選抜方法	83
(1)	入学者選抜試験の概況	83
1)	推薦入学試験	83
2)	一般入学試験	83
3)	大学入試センター試験利用入学試験	83
4)	AO入学試験	83
5)	スカラシップ入学試験	84
6)	特別入学試験	84
(2)	入試選抜方法の妥当性	84
第4節	入学者選抜の仕組み	87
(1)	入学者選抜試験の実施体制と公正性確保	87
(2)	入試者選抜の実施	88
(3)	入学者選抜方法の改善	88
第5節	入学者選抜における高・大の連携	89
第6節	科目等履修生・聴講生	89
第7節	外国人留学生の受け入れ	90
第8節	定員管理	90
(1)	入学者数と在籍学生数	90
(2)	退学者の状況	91
1)	日常的なフォロー	91
2)	経済的な理由に対して	92
(3)	編入学生の受け入れ状況	92
(4)	転専攻・転コースの状況	93
・	点検・評価	94
・	改善方策	98
第5章	学生生活	
・	到達目標	99
第1節	学生への経済的支援	99
(1)	奨学金制度	99
(2)	特待生制度	101

(3) 経済的支援制度の有効性・妥当性	102
(4) 経済的支援の広報	103
第2節 生活相談指導	103
(1) 健康指導	104
1) 定期健康診断	104
2) 校医	104
3) 入学時保健調査	104
4) 海外研修時の指導	104
5) 保健室	104
6) 麻疹対策	104
(2) 学生相談	105
1) 学生相談連絡会と学生相談室	105
2) ピアサポート制度	106
3) アドバイザー制度	106
4) オフィスアワー	106
(3) 行事等	106
1) コミュニケーション・ワーク	106
2) フレッシュマンフェスタ	106
3) 入学生講演会	107
4) AED	107
(4) セクシャル・ハラスメント防止	108
(5) 出席不良の学生への対応	109
(6) 学生の安全・衛生への配慮の適切性	109
(7) 学生の満足度	110
1) 学生アンケート	110
2) スピークアップ・システム	111
第3節 就職指導	112
1) キャリアプランニング	112
2) 就職ガイダンス	113
3) インターンシップ	113
4) 模擬テストの実施	113
5) 各種対策講座	114
6) 個別指導	114
7) ゼミナールの時間での指導	114
8) 就職統計データの整備	114
(2) 指導の適切性	114

第4節 課外活動-----	115
1) 部・同好会・サークル-----	115
2) 自治会（栄友会）-----	115
3) 予算配分-----	115
4) 施設・設備の利用-----	116
5) 人的支援-----	116
6) プロの指導者-----	116
7) スポーツ特待生制度-----	116
第5節 資格取得の支援-----	116
・点検・評価-----	118
・改善方策-----	118
第6章 研究環境	
・到達目標-----	119
第1節 研究活動-----	119
(1) 学内誌への投稿-----	119
(2) 学術誌への投稿・著作等-----	120
第2節 研究における国際連携-----	121
第3節 研究条件の整備-----	121
1) 個人研究費、研究旅費-----	121
2) 共同研究費-----	122
3) 出版助成-----	122
4) 教員の研究室-----	122
5) 教員の研究時間の確保-----	122
6) 教員の研修機会の確保-----	122
第4節 競争的な研究環境-----	123
・点検・評価-----	123
・改善方策-----	123
第7章 社会貢献	
・到達目標-----	125
第1節 社会への貢献-----	125
(1) 地域共生研究センター-----	125
(2) 公開講座-----	128
1) ぐんま県民カレッジ連携講座-----	128
2) きょうあい子育てひろば-----	129
3) 地域共生研究センター設立記念行事並びに 生涯学習講座-----	130

(3) 施設等の開放-----	131
1) 図書館の開放-----	131
2) 施設の貸出-----	131
(4) 公的活動への参加-----	131
(5) ボランティア活動-----	132
(6) その他の交流-----	133
1) 宗教センターの活動-----	133
2) アンカークラブ-----	133
3) ゼミによる地域との連携-----	133
4) 聖歌隊の活動-----	133
5) 全国の小中高学生を対象とするコンテスト等の開催-----	134
6) 学園周辺の清掃-----	134
第2節 企業や自治体との連携-----	134
(1) 社会人教育の受託-----	134
(2) 自治体との連携-----	134
・点検・評価-----	136
・改善方策-----	136
第8章 教員組織	
・到達目標-----	137
第1節 教員組織-----	137
(1) 専任教員の数-----	137
(2) 専任教員の年齢構成・男女比・国籍-----	138
1) 年齢構成-----	138
2) 専任教員の男女比-----	138
3) 外国人教員の採用-----	138
(3) 専門領域への配置の状況-----	139
(4) 専任教員と非専任教員の割合-----	140
(5) 教育課程編成と教員間の調整-----	140
(6) 教員の多様な勤務形態-----	141
(7) 学外の大学での兼任-----	142
第2節 教育研究の支援職員-----	142
第3節 教員の募集・任免・昇格-----	143
(1) 教員の募集-----	143
(2) 教員の任免-----	144
(3) 昇任人事-----	144
第4節 教育研究活動の評価-----	145

(1) 継続審査	145
(2) 昇任審査	145
・点検・評価	146
・改善方策	146
第9章 事務組織	
・到達目標	147
第1節 事務組織	147
(1) 事務組織の構成	147
(2) センター制と事務組織の管理	149
(3) 各種会議・委員会	151
(4) 教員組織との連携	153
第2節 事務組織の役割	153
(1) 教学に関わる企画・立案・補佐	153
(2) 意思決定・伝達システムと事務組織	154
(3) 専門業務と事務組織	154
(4) 大学経営と事務組織	155
第3節 スタッフ・ディベロップメント	156
(1) 研修機会の確保	156
1) 研修会等への参加	156
2) 大学院等への修学	156
3) 学内での研修会	156
(2) 目標管理制度	157
(3) 人事異動等	157
第4節 法人理事会との関係	157
・点検・評価	158
・改善方策	158
第10章 施設・設備	
・到達目標	159
第1節 教育施設・設備	159
(1) 施設・設備	159
(2) 情報処理・マルチメディア関連設備	161
(3) 旧アメリカン・ボード宣教師館	165
第2節 キャンパス・アメニティの形成、支援のための 体制の確立状況	166
(1) 周辺環境	166
(2) キャンパス環境	166

(3) 大学周辺の「環境」への配慮-----	168
第 3 節 利用上の配慮-----	168
第 4 節 組織・管理体制-----	170
(1) 施設・設備を維持・管理するための 責任体制の確立状況-----	170
(2) 施設設備の衛生・安全の確保を図るための システムの整備状況-----	171
・点検・評価-----	171
・改善方策-----	171
第 11 章 図書・電子媒体等	
・到達目標-----	172
第 1 節 図書館の施設・設備-----	172
(1) 図書館の設備-----	172
(2) 図書館の蔵書及び資料等-----	173
第 2 節 図書館の管理と運営-----	174
(1) 図書館の利用-----	174
(2) 選書の方法と予算-----	175
(3) 管理体制と学術情報の電子化-----	176
・点検・評価-----	176
・改善方策-----	178
第 12 章 管理運営	
・到達目標-----	179
第 1 節 教授会-----	179
(1) 構成員-----	180
(2) 開催-----	180
第 2 節 学長・学部長・事務局長-----	180
(1) 学長-----	180
1) 学長の選任-----	180
2) 学長の権限・役割-----	181
3) 学長補佐の選任-----	182
(2) 学部長-----	182
1) 学部長の選任-----	182
2) 学部長の権限・役割-----	182
(3) 事務局長-----	182
第 3 節 意思決定-----	183
(1) 意思決定に関わる組織-----	183

1) 企画センター-----	183
2) 4者ミーティング-----	183
3) 企画運営会議-----	183
4) スタッフ会議-----	184
(4) 意思決定のプロセス-----	184
第4節 大学の組織と理事会-----	185
第5節 法令および規程順守と危機管理-----	185
(1) 法令と規程遵守-----	185
(2) 個人情報保護-----	185
1) 体制の整備-----	185
2) 規定の整備-----	186
3) 研修の実施-----	187
4) 各種設備機器の導入-----	187
(3) 危機管理-----	187
・点検・評価-----	187
・改善方策-----	188
第13章 財務	
・到達目標-----	189
第1節 中・長期的な財務計画-----	189
第2節 財政基盤-----	189
(1) 教育研究費と財政基盤-----	189
(2) 外部資金等-----	190
第3節 予算編成と執行-----	192
(1) 予算の配分-----	192
(2) 予算の執行-----	192
(3) 財務監査-----	193
(4) 財務指標-----	193
1) 消費収支計算書-----	193
2) 貸借対照表関係比率-----	194
・点検・評価-----	196
・改善方策-----	196
第14章 自己点検・評価	
・到達目標-----	197
第1節 自己点検・評価-----	197
(1) 自己点検・評価委員会-----	197
(2) 大学基準協会への加盟-----	198

(3) 改善への取り組み-----	198
1) 学生の受け入れ-----	199
2) 教員組織の整備-----	199
3) 専攻・コース制の定着・カリキュラム改革-----	200
4) 「助言事項」についての改善-----	200
(4) 2004-2008 自己点検・評価へ向けての取り組み-----	201
1) 自己点検・評価書の作成-----	202
2) 自己点検・評価委員会-----	203
3) 編集-----	203
4) 承認と報告書提出-----	203
第 2 節 学生および学外者による検証-----	204
(1) 学生の視点-----	204
(2) 大学の入学政策調査-----	204
(3) 卒業生調査-----	204
・点検評価-----	204
・改善方策-----	205
第 15 章 情報公開・説明責任	
・到達目標-----	206
(1) 財政の公開-----	206
(2) 自己点検・評価の公開-----	206
・点検・評価-----	207
・改善方策-----	207
終章	
その他-----	208